

# 一 般 質 問 通 告 表

平成26年第2回始良市議会定例会（7月8日（火） 午前9時開会）

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 堀 広子	1. 川内原発再稼働について	<p>(1) 川内原発再稼働が進められようとしている。そのような中、大飯原発の再稼働を違法とする判決が下された。市長の見解を問う。</p> <p>(2) 福島第一原発の事故を受けて、原発から「30キロ圏内」の自治体には避難計画が義務付けられた。始良市の蒲生地区の一部は30キロ圏内に入る。避難計画と受け入れの準備はなされているのか。特に、要援護者に対する対策はどのようになっているのか。</p>	市 長
	2. ゴミ袋問題について	<p>始良市のゴミ袋は高いとの声がある。資源ごみや有価物の売上は、2013年度、約3100万円と報告されている。この一部を市民に還元し、負担の軽減を図れないか。</p>	市 長
	3. 住宅リフォーム助成制度について	<p>住宅リフォーム助成事業は、経済波及効果が「12倍」（霧島市）と高く、中小業者の仕事を増やす事業として歓迎されている。</p> <p>(1) 昨年の答弁で、安心リフォーム推進協議会の設立について、年内に第一回目の協議会、その後、数回の協議会を開催する予定とのことだったが、どのように開催されているか。</p> <p>(2) 助成制度の事業規模、内容、時期などは、どのように調整されているか。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	4. 浸水排水対策について	国道10号以南の住宅地においては、集中豪雨等により雨水量が増え、道路や床下まで冠水する所がある。衛生面でも問題がある。浸水排水対策の抜本的な改善が必要だが、計画はどのようなになっているのか。	市 長
2. 犬伏 浩幸	1. 市長の政治姿勢について  2. 子ども・子育て支援新制度について	(1) 2期目を迎えての感懐について。 (2) 新庁舎建設についてどのように考えているか。  新制度への対応状況について問う。 (1) 幼児教育の重要性の認識について (2) 始良市子ども子育て会議の構成について (3) 子ども子育て支援新制度の担当部署について (4) 教育標準時間認定子どもの施設型給付について (5) 一時預かり事業について (6) 幼稚園等からの認定子ども園への移行について (7) 新制度への移行時期について (8) 保護者等への周知について (9) 就園奨励費事業について	市 長  市 長 教育委員長
3. 法元 隆男	1. 医療費抑制について	今後大きな課題のひとつである医療費高騰に関し、次のことについて問う。 (1) 始良市は医療費高騰に対し24年～26年までの3年間、年間の不足額を平均2億3000万円と予測し、その対策として国保税を1億2000万円値上げし、残り1億1000万円を一般会計からの繰入れとした。そこで24年度、25年度の結果と、	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 市長のマニフェストについて	<p>3年目の26年度の見通しについて。</p> <p>(2) 国保税値上げと一般会計からの繰入れは3年間の措置である。当初の段階では、27年度より後は全く予測できないとのことであった。26年度に入った現在、27年度以降についてどのように計画しているか。</p> <p>(3) 医療費抑制の根本的な対策をどう考えるか。</p> <p>市長選において、8項目の約束としてマニフェストに示した。その中から次について問う。</p> <p>(1) 小学校区ごとのコミュニティ協議会、配偶者暴力支援センターについて。</p> <p>(2) 中学生までの医療費助成について。その内容と時期について。</p> <p>(3) 総合運動公園等の駐車場について、具体的に述べよ。</p> <p>(4) 義弘公没後400年事業について具体的に述べよ。</p> <p>(5) あいら斎場の建て替えをどのように進めているか。</p> <p>(6) 鳥獣対策の充実の内容を示せ。</p>	市 長
4. 小山田邦弘	1. 施政方針、マニフェストに掲げられている「暮らしやすさ」の『指標』について	<p>前回の任期においては「県央の良さをいかした県内一暮らしやすいまち」を標榜され、今回の施政方針、マニフェストにおいても「日本一暮らしやすいまち」を掲げられている。</p> <p>「暮らしやすさ」とは地域ごとあるいは人それぞれに異なる捉え方があり多様であると考えますが、市長の目指す「暮らしやすさ」とはどのような要素が揃っている状態を示されるのか、具体的な『指標』を示されたい。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 県内一、そして日本一を目指す「暮らしやすさ」の『尺度』について</p> <p>3. 子ども・子育て世代の政策的位置付けについて</p>	<p>今回の施政方針において市長は「熟議」という言葉を数回使われている。今般の選挙において支持された市長の考えやマニフェストが市政に反映され、健全な市政が行われているかを市議会において「熟議」するためには1つの“ものさし”が必要である。</p> <p>特に施政方針、マニフェストの根幹をなす「暮らしやすさ」における前回の「県内一」、今回の「日本一」を目指す時の『尺度』を示されたい。</p> <p>施政方針には合併後の転入超過が本市の人口増を促しているとの指摘がある。この“風”を維持・強化していくためには、若年層、特に子育て世代が満足する「暮らしやすさ」が欠かせないと考える。</p> <p>子どもは本市の未来を担う宝であり、子育て世代は宝箱であると同時に今の“風”の源でもある。</p> <p>教育、福祉に限らず行政全般において、子ども・子育て世代をどのように位置づけ、「暮らしやすい」まちとして彼らを満足させようとしているのかを問う。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長 教育委員長</p>
5. 峯下 洋	1. 松原上地区排水対策について	<p>松原上自治会から松原上地区の排水対策についての要望書が市長に対して提出され、今年の2月に「始良駅前整備の排水対策と同様に松原地区への流入量の減少に努める方法の検討と計画的な整備に努力していく。」との回答があったが、排水対策のその後の取組みについての具体的な計画を問う。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 松原上校区内安全に関する事項について	<p>松原上自治会から校区内の交通安全に関する事項についての要望書が、教育長に対して提出されたと思うが、松原なぎさ小学校開校に伴う安全な通学路の確保について問う。</p> <p>松原・十日町線の菜の花保育園前の変形交差点への信号設置や30キロ規制の路面表示・歩道の確保などはできないか。</p>	市 長 教育委員長